



産 鶴 鳥 マ イ ハ ト 便 り



発行元：千葉県循環器病センター 地域医療連携室（直）0436-50-6501 F A X 0436-50-6503
 〒290-0512 千葉県市原市鶴舞575 0436-88-3111(代表) F A X 0436-88-3032
 URL <http://www.chibakenritsubyouin.jp/junkan/index.html>

循環器病センター5つの運営指標

- 良質で模範的な医療の提供を目指します。
- 温かさ・思いやりの心で県民の皆様がいつでも安心して受診できる施設を目指します。
- 常に高度で先進的な医療を提供するため、職員一人ひとりが技術研鑽に努めます。
- 近隣の病院・診療所と密接な連携をはかり、地域全体の医療の向上を目指します。
- 透明性のある医療を目指し、インフォームドコンセント（十分な説明・同意）に努めます。

やります！！禁煙外来！！！！

～心のニコチン洗いましょう～



～当センターでは2012年2月8日より、禁煙外来を新たに始めることになりました！！～
 2006年4月より禁煙治療が保険適用されることとなり、喫煙を単なる習慣・嗜好と捉えるのではなく、『ニコチン依存症』という一つの病気として捉え、医師や看護師の指導のもと治療を行うことが、循環器疾患などの予防や治療に有効であると考えられるようになったからです。

禁煙治療は一定の条件を満たした喫煙者であれば、どなたでも受診することが可能ですので、是非この機会に禁煙を始めてみませんか？

外来予約：) 千葉県循環器病センター 地域医療連携室

Tel : 0436-50-6501

AM8 : 30～PM5 : 00 まで

外来実施時間：)

- ・日時 : 毎週金曜日 13:00～15:00 (完全予約制)
- ・場所 : 13番診察室



～治療スケジュール～



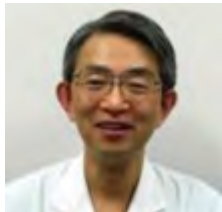
受信時期	治療内容
治療前の問診・初回診察	禁煙治療のための条件の確認（初回診察のみ）
再診1（初回診察から2週間後）	①診察 ②呼気一酸化炭素濃度の測定 ③禁煙実行・継続に向けてのアドバイス ④禁煙補助薬の処方
再診2（初回診察から4週間後）	
再診3（初回診察から8週間後）	
再診4（初回診察から12週間後）	

～健康保険を使って受診～

保険適応となるには、①～④の全てに該当する患者さんになります。

- ①直ちに禁煙しようと考えていること
- ②ニコチン依存症のスクリーニングテストが5点以上であること
- ③ブリンクマン指数（1日喫煙本数×喫煙年数）が200以上であること
- ④禁煙治療を受けることを文書により同意していること





村山副センター長

私たちがなります！！
あなたの心の空気清浄機に！！
禁煙外来はじめました・・・。
 ～禁煙外来チームへインタビュー～



吉野看護師(左)と渡邊看護師(右)

- 1.当センターで禁煙外来を立ち上げた理由・きっかけ等を教えてください。
 2012年1月からセンターの敷地内全面禁煙を実施したので、患者さんはもちろんですが、センター職員の禁煙支援をするためというのが理由です。
- 2.心臓血管外科が専門の先生が禁煙外来を行なうのは、どのような理由があるのですか？
 当センターで手術を受ける患者さんの中には、喫煙をやめられないまま手術を受ける患者さんも少なくない現状がありました。喫煙者は術後に合併症も起こしやすいため、禁煙外来の必要性を感じ立ち上げに参加しました。
- 3.禁煙外来に携わるメンバーは主に何名ですか？
 医師2名、看護師2名の合計4名です。その他にも、薬剤部・検査科・医事課と、病院全体が関わって行なっています。
- 4.それぞれ異なる職種からチームを組まれていますが、資格等必要となるのですか？
 日本禁煙学会認定専門指導者と、認定指導者という資格があります。今はまだ取得していませんが、今後取得していけるよう、励んでまいります。
- 5.禁煙外来はどのような方を対象と想定していますか？
 全ての禁煙したい方を対象としています。特に循環器疾患・脳血管疾患を主に扱う病院ですから、循環器疾患・脳血管疾患をお持ちの方で対象となる方がいらっしゃると思われれます。
- 6.禁煙外来での実際の治療内容はどのような内容ですか？
 保険診療の場合は、12週間の間に全部で5回、外来に通院していただきます。初回は問診票に今までの喫煙状況や、喫煙経験、既往歴等を記入していただきます。そして、ブリンクマン指数を計算し、一酸化炭素濃度測定、ニコチン依存症のスクリーニングを行います。ここでニコチン依存症と診断された場合は、保険診療の対象となります。禁煙開始日を決め、禁煙宣誓書に記入していただき、患者さん自身に合わせて禁煙補助薬（飲み薬orパッチ）を選びます。
 その後は2週間ごとに受診していただきます。毎回、呼気中の一酸化炭素濃度を測定し、外来診察の際に今後禁煙を続ける上で不安な点をご相談していただくという形になります。
- 7.禁煙外来に関わる方のそれぞれの役割を教えてください。
 医師は患者さんの既往歴について確認し、禁煙補助剤を検討していきます。看護師の役割としては、患者さんに対する問診・計測・スケジュールの説明・禁煙への支援です。まだ始まったばかりなので、手探りですが、頑張っていきたいと思っています。他にも薬剤部が、禁煙手帳・パンフレット等の選別、検査科が一酸化炭素濃度の検査機の選別をそれぞれ担ってくれています。
- 8.禁煙外来を行っていく上で何か気をつけていることはありますか？
 一番は、患者さんへの支援・接し方です、心の支援がとても大切ですので患者さんの話をよく聞いて、とにかく禁煙を達成できるまで支える存在となれるよう、こころがけています。
- 9.禁煙外来に受診することで本当に喫煙をやめられるのですか？
 タバコを吸うことは「ニコチン依存症」という病気として受け止めていただき、治る病気ですので、治療に取り組もうとする意思が重要です。是非一度受診してください。
- 10.禁煙外来の今後の目標等教えてください。
 院外へのインフォメーションを行なっていき、毎回禁煙外来の予約が入るようにすることと、担当医師の確保ですね。
- 11.当センターを受診される方・読者へ一言お願いします。
 喫煙をやめたくても、やめられない方・禁煙する自信のない方は多いと思いますが、循環器病センターでは血管疾患の予防・治療する一環として禁煙を呼びかけていくと共に、禁煙外来チームを上げて支援いたしますので、そういった方は是非、受診してください。よろしくお願いします。



平成23年度県立病院学術集会開催！

毎年千葉リハビリテーションセンターを含めた8つの施設による持ち回りで開催している、県立病院学術集会ですが、今年は当センターが当番病院として2月11日に開催いたしました。

当日は、各8病院が日頃の研究成果を披露しました。またそれに先立って、職員の日々の研究成果や功績に対して授与される病院局職員表彰が行われました。研究発表における最優秀賞には、当センターの石橋栄養科長の「当センターにおける術前経口補水の導入について」が選ばれました。今後も研究活動を活かして、より良い医療を患者さんへ提供できるよう努めてまいります。



最優秀賞を獲得した
石橋栄養科長の発表→

病院局職員表彰の様子
←写真は表彰を受ける
当センターの椎名上席専門員



循環器病センターが雪化粧しました！

今年1月に降った大雪により、房総の軽井沢と呼ばれる市原市鶴舞にある当センターも雪化粧により、幻想的な風景となりました。



D P C 準備病院へ移行します！ ～2012年4月1日より～

医療の質の向上及び医療プロセスの標準化を目指して、当センターはD P C 病院への移行を推進いたします。

患者さんについては、現在は使用した薬剤、診療材料や検査、注射、手術等、実際にかかった費用が請求されておりますが、D P C 対象病院へ移行した後は、同じ疾患であれば全て同じ額の請求となります。

D P C には現在全国で1,500以上の病院が参加しており、病床数では既に全国の過半数の病床がD P C 対象となっております。急性期病院の標準となっております。

D P C 対象病院へ正式に移行するのは2年後を予定しておりますが、その前段階として2012年4月1日よりD P C 準備病院へ移行して、入院データを診断群別に厚生労働省へ提出いたします。

既に昨年より、D P C 準備病院移行に向けた取り組みや、院内での共通認識を図るためD P C 講演会も実施して、円滑な移行に向けた準備を進めてきております。

皆様のご理解・ご協力よろしくお願いたします。

[D P C 講演会 (がんセンター・浜野部長)]



※なお、D P C 準備病院移行に伴い、D P C データ提出を含めた診療報酬体系へと移行いたします。

～新しい医師の紹介～

平成24年3月1日から亀田総合病院より、井上明先生を迎えました。

先生は内科一般、呼吸器一般、アレルギー、膠原病などを専門とする先生です。

今まで当センターの内科の常勤医は藍先生の1名でしたが、先生を迎えたことにより、より充実した内科医療を提供できるようになりました。今後の先生のご活躍にご期待ください。



～皆さまのご参加ありがとうございました～

第11回市民公開講座 1月21日(土)

心臓血管外科 浅野主任医長

「震災への備え～東日本大震災の災害医療を経験して～」

放射線科 川崎主任技師

「改めて知ろう、放射線 ～放射線についての疑問を解決しましょう～」

浅野主任医長の講演では、昨年発生した東日本大震災において、実際に被災地へ災害医療に赴いた経験を元に、災害医療の説明及びその問題点や、日頃からの災害への備えの重要性について説明をしました。

川崎主任技師の講演では、放射線そのものについての説明から、医療における放射線治療についてまで、専門用語の解説を交えながらの説明となりました。

講演終了後には、参加者の方から災害の際の薬の処方についての質問や、東京電力福島第一原子力発電所による放射線の影響についての質問が多く出される等、充実した講演となりました。多くの皆様のご参加、ありがとうございました。

→講演する浅野主任医長



質問に答える川崎主任技師



クリスマス会を開催しました！

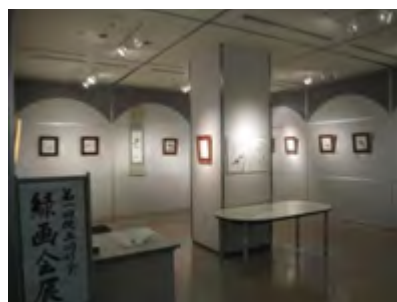
昨年12月16日にクリスマス会を開催しました。当日は多くの方々の協力のもと、楽しい会となりました。今年もクリスマス会の開催に向け準備してまいります。ご期待ください！



恒例となった「鶴舞ロマンチカ」の演奏♪

ギャラリー二つ返事のご案内

- 3月 桃花会大多喜支部 『ペン字展』
- 4月 上総和筆 『竹細工展』
- 5月 パンフラワー岩月教室 『写真展』



2月の俳画同好会による「緑画会展」